

競技注意事項

1. 本大会は、2025年度日本陸上競技連盟規則および本大会要項により実施する。
 2. 招集について（招集所は100m スタート地点横 スタンド下倉庫）
 - （1）競技者は招集完了時刻までに招集所に集合し、チェックを受ける。その後、役員の誘導に従い競技場に入場する。ただし、男子走幅跳、投てき競技は現地招集とする。
 - （2）招集時刻は次の招集時刻一覧表のとおりとする。
- | 競技種目 | 招集開始時刻 | 招集完了時刻 |
|--------|----------|----------|
| トラック種目 | 競技開始30分前 | 競技開始20分前 |
| 投てき競技 | 競技開始40分前 | 競技開始30分前 |
| 跳躍競技 | 競技開始50分前 | 競技開始40分前 |
| 棒高跳 | 競技開始60分前 | 競技開始50分前 |
- ※競技者は、競技順序記載の該当する組の招集時刻に合わせて、招集を受けること。
- （3）招集完了時刻に遅れたものは欠場とみなし、出場を認めない。（但し、他種目に出場中は代理でも可）
 - （4）リレーのオーダー用紙は当該種目、第1組目の招集完了時刻1時間前までに、競技者係に提出すること。オーダー用紙は招集所に準備する。
 - （5）四種競技の招集は、第1日目および第2日目の最初の種目については、招集時刻一覧表のとおり招集所で行う。第2種目は、競技開始20分前までにそれぞれの競技場所に集合すること。
3. 番組編成について（レーン順・試技順）

トラック競技のレーン順とフィールド競技の試技順は、主催者が抽選で決定し、プログラム記載の各競技者の登録番号の左に数字で示す。
 4. トラック競技について
 - （1）スターターの合図は英語とし、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格させられる。ただし、混成競技においては、2回目以降に不正スタートした競技者が失格させられる。
 - （2）800m 予選は、グループスタート（レーンを使用しないスタート）で行う。決勝は、レーンを使用するスタートを行う。
 5. アスリートビブスについて
 - （1）アスリートビブスの番号は、2025年度の日本陸連登録予定番号とし、各自で作成し胸背部に確実に付ける。トラック競技の腰ナンバーカードは主催者が準備する。
 - （2）跳躍競技の出場者は胸背部のいずれか一方のみでよい。
 6. 用器具は競技場のものを使用すること。
 7. 競技場は全天候舗装である。また、競技用靴については、シューズに関する競技規則を適用する。
 8. 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は下表の通りとする。

種目・区分		種 別	練習	試技						
走高跳	男子	共 通	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	以降 3cm ずつ	
		四種競技	1m30	1m33	1m36	1m39	1m42	1m45	1m48	以降 3cm ずつ
	女子	共 通	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	以降 3cm ずつ	
		四種競技	1m10	1m13	1m16	1m19	1m22	1m25	1m28	以降 3cm ずつ
棒高跳	男子	共 通	2m00	2m10	2m20	2m30	2m40	2m50	2m60	以降 10cm ずつ
	女子	共 通	1m60	1m80	1m90	2m00	2m10	2m20	2m30	以降 10cm ずつ

9. 三段跳の踏切板は男子10m、女子8mとする。
10. 走幅跳、三段跳の競技中は、バックストレート側スタンドの立入を制限する。係の指示に従うこと。

11. 競技運営上下記の種目は、計測記録を設ける。

走幅跳	男子	4m50	砲丸投	男子	4m00	ジャベリックス ロー	男子	25m00
	女子	3m50		女子	4m00		女子	20m00
上記の計測記録に満たない場合は計測しない。ただし、必ず最初の成功試技は計測を行う。								

12. 練習は、隣の補助競技場（投てき以外）で行なうこと。ただし、周回しない種目や長距離種目の競技中は、バックストレートを練習会場として開放する。係の指示に従うこと。

また、投てき競技の練習については、競技開始 60 分前より競技場内の投てきピットを開放するので、競技場内の投てきピットで行うこと。

13. 投てき種目の投てき物の重量は、次の通りとする。

男子の砲丸は 5kg とするが、四種競技の場合は 4.0kg とし、女子は 2.72kg とする。男子の円盤は 1.5kg、女子の円盤は 1.0kg とする。

14. 競技者の変更は認めない。

15. 表彰は、3 位までとし賞状を授与する。

16. 本大会は、四種競技のみ、全日本中学校陸上競技選手権大会の指定大会である。次の標準記録に到達した者は、全日本中学校陸上競技選手権大会に出場できる。

男子 2500 点 女子 2630 点

17. 更衣室は、待機場所として使用しないこと。使用時は更衣を速やかに行い退出すること。利用者が多い場合は、人数制限を行う場合がある。

18. 競技結果等については、宮崎陸上協会 Mobile サイト

(<https://www.miyariku.org/maaf/mobile>) に掲載する。また、競技場正面玄関内のモニターにも投写する。